

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 2 年度第 3 回 富士見市産業振興審議会 議事録</p>						
日 時	令和 2 年 1 2 月 2 3 日 (水)		開会	午後 2 時		
			閉会	午後 4 時		
場 所	中央図書館 視聴覚ホール					
出 席 者	委 員	猪瀬委員	西本委員	門脇委員	田中委員	寺沢委員
		○	○	○	○	○
		徳田委員	竹内委員	田坂委員	横山委員	
		○	○	○	○	
事 務 局	産業振興課 佐々木課長、吉野副課長、横田副課長 瀬戸主任					
公 開 ・ 非 公 開	公開 (傍聴者なし)					
議 題	1 開 会 2 審議事項 3 閉 会					
<b>議 事 内 容</b>						
会 長	1 開 会  2 審議事項  ① 富士見市第 3 次商業活性化ビジョンについて 事務局より資料に沿って第 2 回及び第 3 回地域別商業者懇談会意見及びコロナ実態調査の結果等について説明。  アンケート結果を見ると、事業所の回答数は小売・飲食店の比率が高い。中でも大きな危機感を感じる点は、個店の高齢化が進み、この					

委員	<p>まま個店が事業の継承をしなかった場合、時間の経過とともにいずれ多くの店が廃業してしまう恐れがあるということだと思う。</p>
事務局	<p>経営者は何が原因で事業承継せず廃業していくのか。人材の問題のためか、または資金や設備、あるいはそのほかの問題が起きているのか。</p>
会長	<p>人材・資金繰りなども考えられるが、副収入として不動産などをお持ちの方もいることや、子供の世代が、稼業を継ぐ以外の生き方を選択しているため敢えて事業承継をしない事業者もいるように思う。</p>
委員	<p>事業承継を望む方についてはサポートをしていく必要を感じている。</p>
会長	<p>個人店自身が、自分の店は地域に必要とされていると感じていることも事業承継への意欲に繋がると思うがどうか。</p>
事務局	<p>例えばクリーニング店については、ファストファッションが流行る中、クリーニングを必要としない、ワンシーズンで廃棄となる服も多いように感じる。設備投資の面などでは、このような時代に今後どこまで設備投資が必要なのかと考えさせられることもある。</p>
事務局	<p>時代とともに趣向や消費活動、ライフスタイルなども変化していく中、若い方などは、通販を活用するなど、世代ごとの消費への考え方の違いが大きく出てきている。そういった点からも、地域マーケットをより広域に市全体として捉えていく必要も出てきているのではないか。</p>
委員	<p>富士見市は、住宅の開発とともに自然発生した店も多いため事業者であり、かつ住民である方も多いため住民の高齢化とともに事業者の高齢化も進んでいるような状況である。</p>
委員	<p>以前は徒歩圏内にお店があったものが、今度は広く富士見市というマーケットの中で消費行動していただく必要も出てくるのではと改めて感じている。</p>
委員	<p>廃業などにより、市内には既に一店舗もなくなってしまった業種もある。</p>
委員	<p>これまでの商店街は、地域という限られたマーケットの中で商売が成り立っていたが、通販などで多種多様な物が購入できるため、地域の専門店の需要が減っている傾向にある。特色がある店は残っているが、そういった影響もあり、地域にある個店の業種が偏ってしまっている。そのため、商店街で買い物を全て賄うことはより困難になっている。</p>
委員	<p>みずほ台は、商店街が比較的広域であり、去年は商店街同士協力して「みずほ台の日」というイベントを開催した。各団体も関わっていただき、地域のPRも兼ねてみずほ台駅ができた日を祝うイベントとして実施した。鶴瀬もどうかと他の商店会長とも話したが、鶴瀬は商店会が細かく分かれているため、難しいとのことだった。鶴瀬などはまずは商店会の合併から進めていきたいとのことだった。</p>
委員	<p>これからは、小さな単位での地域ではなく、みずほ台や鶴瀬、ふじみ野、または市全体で垣根を越えて協力し合い活動していくということも必要であると感じている。</p>

会 長	<p>事業所数を維持し、税収面・消費を通した暮らしやすさ・働く場所の増加を目指すという面でも、組織の再編成やあり方の見直しなども必要になってくると思われる。</p>
委 員	<p>商店会も、地域の商業者だけでなく、様々な場面で様々な団体や市民と関わるリーダーとしてイベントなどを盛り立てていく団体の一つとして活躍していく時代に向かっているのではないかと。</p>
事務局	<p>個店の意識の温度差もある。意識が高い個店との協力と、高齢化するなど課題を抱える個店の力の底上げも必要。</p> <p>人的・予算的余裕がない中でどのようなことができるか、やるべきことは何かについては検証が必要である。</p> <p>アンケートからも分かるように、事業継承困難のために廃業者が増えていくことが予想されている。商業集積としての商店会という形は無くなりつつある。</p> <p>第3次ビジョンは、商業者や商店会だけのためのビジョンではなく、あくまで市全体の商業を活性化させるため、のビジョンである。他方で、商業者の個の力も伸ばしていけるようなビジョンでありたいと考えている。</p>
会 長	<p>新しい地域商業のあり方という視点で、地域商業としての個店の強みを伸ばす取り組みを含めてビジョンに反映できると良い。</p>
委 員	<p>一店逸品運動など毎年カタログを作成しているほか、フェアなども開催しているが、一般のお客様に向けてもう少し認知度を高めたいところではある。「いい富士見の日」などを更に活用して、アピール方法なども模索していく必要がある。</p>
会 長	<p>カタログがあるのであれば、新たな住民の方に配布してはどうか。</p>
委 員	<p>そのような配り方は想定したことが無かった。色々な方法を模索していきたい。</p>
委 員	<p>市のホームページなどだけではなく、紙で配らず SNS での配信をするほか、デザインの工夫なども含めて今までとやり方を変えていくのも良いのでは。</p>
委 員	<p>ママの力、女性の力を借りながら、アイデアを取り入れていくことも良いと思う。</p>
委 員	<p>市にはココシルもあるが、ココシルの認知度を上げていくことも必要だと感じている。</p>
委 員	<p>口コミ応援などにより、個店からのサービスを受けられるなど、消費者とのコミュニケーションを取る、ファンを増やしていくという試みも必要になってくると感じている。</p>
会 長	<p>食べログなどは評価を恐れない参加型の口コミサイトである。</p>
委 員	<p>認知度も大切だが、継続するには良いものでないといけない。ニーズに沿った付加価値を付けられると良い。</p>
事務局	<p>前出した話題だが、新たに住民になる方に、お住まいになる地域のお店の情報を提供してくると良いのでは。</p>
事務局	<p>地方では、過疎化対策、定住対策の一環として、近所のお店の情報提供などもしている場合もある。そのためには情報発信者と提供者の連携も必要になってくる。</p>
会 長	<p>ファンになっていただき、技術や商品を気に入ってくれる場合は引越しても継続して利用していただく場合もあると思う。</p>

委員	<p>それぞれがその個の力を発揮し、相互に連携を図りながらPRできる市であると大きな強みになる。</p>
委員	<p>地元のお店は、値段よりも、如何にお客さんの好みを把握し、ニーズに答えられるかなど、質の高さが求められている。</p>
事務局	<p>個店の努力と併せて、消費者の力も借りながら、個店同士が協力し高めあっていくことが出来ると、富士見市の大きな魅力にも繋がると思う。個店同士の連携のサポートを、ぜひ市にも手伝っていただけると良い。</p>
会長	<p>今までの施策は、「待ち」の姿勢が強かった面もあるが、今後は商工会・商店街連合会と協力しながら、商業者自らがどんなことに取り組みたいのか、その主体性を高めるためにも積極的に支援していくことが必要であると感じている。</p>
委員	<p>市には産業振興基金制度を活用したチャレンジ支援事業補助金などもある。市では既に頑張る商業者を応援する準備がある。</p>
委員	<p>商業活性化については、民間事業者の自主的な努力が大前提であるが、市の支援等でより効果を発揮するものが地域別懇談会で出た意見については、ビジョンの中でアクションプランとして掲げていくような具体的な内容も多い。</p>
会長	<p>住民を増やしたい、定住してほしいという市としての目的を達成するための方策の一つとして住みやすいまちと市民に喜んでもらうため、買い物利便性の向上や商業の活性化を目指すビジョンを策定しているとすると、情報提供については市が積極的に行っても良いのでは。</p>
事務局	<p>富士見市としてのビジョンであることから、市が支援する場面も多くあると思う。大きなくくりで行う事業や施策は行政主導で行うことも必要なため、商業者との役割分担も含めてビジョンにうまく反映できると良い。</p>
委員	<p>消費者目線で考え、消費者が必要とする情報を提供していきたい。</p>
会長	<p>例えば宅配電話帳の作成や移動販売などに関する情報提供を通して、コロナのような緊急時や災害時に、地元のお店が分からないということが無いよう、普段から地域の中に馴染みの店を持って頂くように、ビジョンで推進していけると良い。</p>
事務局	<p>審議会、懇親会等でいただいたご意見をもとに、具体性・現実性のある、将来像を描けるよう努めていきたい。</p>
委員	<p>意欲的なチャレンジ目標をビジョンに描いていき、まずはチャレンジしていくということが富士見市の産業振興の特色となると思う。</p>
会長	<p>次回、今まで出た意見を具体的にアクションプランとしてビジョンに組み込んでいただき、より具体的に内容を審議していきたい。</p>
	<p>② その他      今後の会議日程      日時：令和3年1月13日（水）午後</p>
	<p><b>3 閉 会</b></p>

